



生徒会選挙

僕らのリアルで
思いをチェック！

10月15日（水）に生徒会選挙が行われました。候補者一人一人の演説に耳を傾けていました。選挙管理委員会が即日開票し、全員が当選しました。



芸術鑑賞

10月17日（金）に網野学舎にて演劇の「ヘレンケラー ～ひびき合うものたち」を鑑賞しました。鑑賞後は、舞台のセットに入り、実際に使わせてもらうこともでき、貴重な体験ができました。文化祭の演劇に活かしてほしいです。

ヘレン・ケラーのような三重苦を持った人が出てくる小説を読んだことがあります。そこでは「三重苦でもなんとかかなる」みたいに成長したヘレン・ケラーが描かれてたから、そんな感じかなと思ってました。だけど真逆で、子供(赤ちゃん)の時のヘレン・ケラーにどう接するか、どうしたら好いてくれるかを模索していく所に感動したし、面白いと感じました。

井上 遼人(2年・弥栄中)



進路分野別説明会

10月22日（水）に、1・2年生を対象とした進路分野別説明会を行いました。前半では、あいさつの大切さや電話でのマナーについて、寸劇を見ながら楽しく学びました。

後半では、一人一人が就職や進学など、各進路に応じて説明を受けました。

進路を決めている人も、まだ悩んでいる人も、各進路先で、どのようなことができるのか知る良い機会になりました。



僕らのリアル

これから1年間久美浜学舎を引っ張る、新生徒会役員の意気込みです。ぜひ御覧ください！



会長 本井 花歩(網野中)

私は、「みんなの意見を形にできる学校にしたい」「自分を変えたい」という思いから、生徒会会長に立候補しました。

私は特別に大きなアイデアを出すタイプでも、人前で話すことが得意なわけでもありません。けれど、人の話をよく聞き、その気持ちを汲み取ることは自信があります。だからこそ、「やってみたい！」という意見が出たときに、それを安心して言える環境をつくり、会長として全力でサポートしていきたいです。



副会長 家城 直美(久美浜中)

私はこの学舎をもっと盛り上げたいと思っています。それだけではなく、時と場合を考えて、メリハリのある学校にしたいです。

私は場の雰囲気盛り上げることや、話を聞くのが得意です。そのことを活かしつつ、いろいろな人の意見を取り入れ励まし合いながら笑顔あふれる楽しい生徒会、久美浜学舎にしたいです。明るくみんなのサポートができる生徒会役員になります。



議長 岡野 愛優実(久美浜中)

私は生徒会に入り、学年を超えた交流を増やして、みんなが笑顔で過ごせる温かい雰囲気の学舎を作りたいです。

また、自分の苦手な「人前で発表すること」にも挑戦し、克服したいと思っています。生徒一人ひとりの声を大切に、みんなで協力しながら、より良い学舎づくりに取り組んでいきます。



副議長 橋本 真佑(久美浜中)

私は生徒会を支え、より良い久美浜学舎をつくっていきたいです。また、人前で堂々と発表できるようになり、支える力と前に出る力を身につけたいです。アンケートを実施して生徒の声を取り入れ、「生徒会に入ってくれてよかった」と思ってもらえるよう努力します。



書記 川井 倅菜(久美浜中)

私が生徒会書記に立候補したきっかけは、先生に勧められたことや人の役に立ちたい、そして学校全体をより良く変えたいと思ったからです。生徒会活動の一つとして、冬場の授業中でも防寒着の着用を認めたいと考えています。また、学年を超えたつながりを深めたいです。書記として、みんなのアイデアや小さな声も大切に、より多くの生徒が楽しく過ごせる久美浜学舎をつくっていきます。



書記 宮島 寛人(大宮中)

生徒会は生徒の代表として学校を引っ張っていく場なので、生徒の声をしっかり聞いていきたいです。私はまとめる力を生かし

Teamsや意見箱を活用して意見を集め、生徒会で話し合いたいです。ルールを変えるには、まず守ることが大切だと思うので、生徒会が手本となるよう努力します。



会計 青木 颯人(網野中)

私が生徒会会計に立候補した理由は、今の学校の雰囲気を換え、みんなが気持ちよく過ごせる学校にしたいからです。校則について

では、生徒と先生が互いに納得できるよう話し合い、より良い形にしていきます。また、意見箱を設置し、生徒の声を学校全体に届けます。行動で変化を生み出し、誰もが誇れる久美浜学舎をつくれます。



会計 岡田 歩(久美浜中)

私は部活動の代表としてだけでなく、学校全体を引っ張っていける存在になりたいと思い、生徒会に立候補しました。みんなが規則

を守りながら楽しく過ごせる学校をつくり、体育祭などで誰もが笑顔になれる環境を目指します。人前で話す力を生かし、「この人が生徒会で良かった」と思ってもらえるよう全力で行動します。

アグリサイエンス科通信

農業クラブ全国大会

10月22日～23日に第76回農業クラブ全国大会が山梨県で開催されました。全国にある農業高校が一堂に会する大会です。

今年度、本校からは家城 直美さん（2年・久美浜）と若森 澪さん（2年・峰山中）が食品の分野で農業鑑定競技に出場しました。農業鑑定競技とは農業に関する知識や技術の成果を競い、鑑定・判定・計算などに関する問題を40問、限られた時間で答える競技です。



今回初めて全国大会に出場して試験会場の雰囲気や大会の緊張感などを肌で感じることができました。来年は農業クラブの京都府代表として頑張りたいです。
家城 直美

課題研究

「課題研究」とは2・3年生の設置科目で、興味・関心のあるテーマについて、グループで課題を設定して、その課題の解決を自分たちで考えていく学習です。



研究内容

生産コース

- ・バイオ液肥を利用した植物の栽培
- ・ぶどうの100%無核化を目指して
- ・廃棄物を有効利用したトマトの付加価値について

食品コース

- ・酒かすを利用したパンやカステラ
- ・米粉を利用したケーキ
- ・おからを利用したお菓子
- ・ジビエの普及を目指して

フラワーアレンジメント

10月22日（水）、3年生選択科目「フローラルアート」の授業で、外部講師として「花かたにし」の片西幸代様をお招きしてフラワーアレンジメント講習会を開催しました。今回は卓上壁掛け2wayのアレンジメントの制作を行いました。



みらいクリエイト科通信

みらいクリエイト科での特徴ある授業は、「みらい探究」の授業と、国語・数学・英語で行っている探究の授業です。

みらい探究Ⅰ

1学期は、探究活動を進めていくために必要な力である情報収集能力と情報処理能力、分析力などの学習をしました。2学期は、3学期にある「課題研究・探究活動発表会みらいのタネ」での発表に向けて、それぞれがテーマを設定して取り組んでいます。

テーマ

- ・集中力
- ・理想のドームツアー
- ・きのこ・たけのこ論争を終わらせたい
- ・部屋がきれいな人と汚い人の違い
- ・人それぞれに対する声のかけ方
- ・「2度あることは3度ある」は本当か
- ・犯罪について



国語探究・数学探究・英語探究

2・3年次には、久美浜学舎独自で設定する科目「国語探究」「数学探究」「英語探究」の授業があります。探究の授業として各教科の単元内容を掘り下げて学習することで、理解を深める学習を行っています。例えば数学探究の授業では、生徒自ら決めた単元や内容を「どのようなイメージで学習する単元なのか」「みんなによりわかりやすい解法・解説はどのようなものか」などを考えて発表します。



みらい探究Ⅲ

みらい探究Ⅲでは、1・2年生で行ってきた探究活動の総仕上げとして、それぞれがテーマを設定して探究活動に取り組んでいます。

テーマ例

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------------------|
| ・自己肯定感を高める | ・体力不足を解決しよう | ・VRを用いて丹後をPRできるか |
| ・高齢者とスマホをつなげる | ・より良い授業のために | ・年少期の読み聞かせは成長にどのように影響するのか |
| ・投資をみんなに知ってもらおう | ・プログラミングで校内交流 | |
| ・ものづくりの楽しさを伝える | ・他学年と仲良くなろう | |

